

議事録

会議名：第32回中四国学生剣道連盟理事会

- 日時：2009年12月12日PM2時00分より
- 場所：広島県立総合体育館・地下1階・中会議室
- 構成員：34名
- 参加者：湯村正仁、小倉 肇、木原資裕、榊 康守、福井悦郎、大城戸 功、草間益良夫、村井慎治、石井博貞、境 英俊、竹内善一、廣畑栄三、宮本理幸、矢野宏光、黒田隼也、湯原将人、葛西辰伍、藤井友美子、宇都宮良泰、久保仁了、小原啓示、近藤秀俊、後藤将仁、下向井 徹、上田晴加、正村良太（以下委任状により出席と見做す）渡邊道德、藤原崇郎、山神眞一、月本翔太、明石靖子、中山佳祐 以上32名、欠席者：山本哲平、宮崎義大2名
オブザーバーとして、近藤裕樹、橋本紘樹

上記の通り、全体の3分の2以上の出席があった為、本会議は適法に成立した。慣例に倣い会長の湯村正仁を議長として議事が進められた。

●記録

氏名：葛西辰伍

E-mail：info@tyushi.net（不明点はこちらへ）

Summary：

- 議題1：第31回理事会議事録確認
- 議題2：幹事会報告（先輩・学生役員改選&脱退についての報告）
- 議題3：全日理事会・常任理事会報告
- 議題4：平成22年度大会について（日程及び審判長）
- 議題5：リーゼミについて
- 議題6：平成22年度予算案
- 議題7：剣友会（中四学連・剣友剣道大会）の報告
- 議題8：剣道有功賞について
- 議題9：顧問弁護士について
- 議題10：その他

●議事

1. 第31回理事会議事録確認

第31回理事会議事録を一部変更して異議なく承認した。

2. 幹事会報告

報告者：黒田隼也

- (1) 先輩・学生役員の改選および脱退について
- (2) 8月の理事会で先輩理事改選があり、理事役員案が承認された。

- (3) 11月の幹事会で学生役員改選が行われ、幹事長・黒田隼也以下別紙のとおり、決定された。
- (4) 新人戦登録選手の変更は、今まで通り1チームにつき1名まで変更を認める。
- (5) 「大会要項に反した選手は、この試合を2本負けとする。ならびに以後の試合の出場を認めない。」については、グラドルールとの兼ね合いで削除する。

3. 全日理事会・常任理事会報告について

報告者：橋本紘樹

報告者：草間益良夫、木原資裕

第2回理事会の報告

- (1) 会長鳥居泰彦先輩の特別講演会が来年7月3日の全日本選手権大会時に開催される。
- (2) 全日本剣道連盟の旧優勝カップについてはレプリカとする。
平成22年度の男女優勝大会から全日本剣道連盟から新優勝カップが寄贈される。
選手権大会については平成23年度から新優勝カップが寄贈される。
- (3) 全日本学生剣道大会の抽選会について
来年又は再来年度からパソコンのトーナメントソフトを用いて行う。
前年度の優勝チームや各地域連盟の優勝チームが1、2回戦であたるのを防ぐ。
- (4) 納入金の一部を地域に還元するということが報告された。中四国には、506,094円が還付される。
- (5) 審判委員会からの報告
垂型目印について、男子全日優勝大会は幅1.5cm、女子全日優勝大会は幅2.5cmを使用して試行した。
来年度以降については2月11日の理事会で決定されるが、背中目印と垂型目印を併用して行う案を推進する予定。
- (6) 平成22年度各地域剣道連盟の審判講習会の日程
関西学生剣道連盟 平成23年2月20日(土) 21日(日)
- (7) 新型インフルエンザの対応について(男子優勝大会で適用)
 1. 出場の判断においては部長の判断に任せる。
 2. 大会1週間前に新型インフルエンザを発症した選手の出場は認めない。
但し、その場合は2名を最大として選手変更を受け付ける。
必要書類：医師の診断書、当連盟規定の選手変更用紙、変更選手の短冊
女子優勝大会及びオープン大会では、人数制限をなくす(総入れ替え可能)。
- (8) 第6回全日学生オープン大会について
平成21年12月19日、20日に仙台で行われる。
第7回全日学生オープン大会は、平成23年度開催予定 北海道学生剣道連盟が主管となって開催することが承認された。
 - ・中四国学連に主管の打診があり、第6回の視察に湯村正仁先輩、近藤裕樹先輩が派遣される。
視察後、主管を引き受けるかを検討する。

第3回理事会の報告

- (1) 片岡代表理事より中四国学連から、青野晃治先輩の全日本剣道連盟有功賞の受賞決定が報告された。
- (2) 事業委員会からの報告
 - ・各大学剣道部長のIDカードの取り扱いについて
各大学剣道部長に対しIDカードを発行する。ただし大会会場の入館は可とするも、試合会場の入場は不可とする。来年度からの大会についても同様の扱いにする。

- ・オープン大会について

次回オープン大会では二段以下の参加人数を増やすように各連盟で働きかけることが提案された。

(3) 審判委員会からの報告

- ・打突コード表について

掲示板は今までと同じであるが、記録用紙には「木刀による基本技稽古法」に基づき、技の種類までわかるように記載することが検討された。例：小手面による面、擦り上げによる面などの違いを明確にする。

中四国学連・大会担当から、中四大会での運用については採用反対意見があった。

- ・学生剣道の技術向上のため各地域において各種大会、審判講習会、監督セミナー、監督懇話会等を通じて指導をお願いすることとした。

- ・各地域連盟における平成22年度審判講習会日程について

平成22年2月11日に予定されている第一回理事会で、審議する計画に日程を報告することとした。

(4) 次年度全日連盟役員の推薦について

各地域連盟で人選した役員名簿（平成21年12月1日～平成24年11月30日）を12月30日までに報告するように要請された。

4. 平成22年度大会について（日程及び審判長）

報告者：福井悦郎、石井博貞

(1) 日程について

リーゼミ…3月6日～8日、場所：尾道ふれあいの里

選手権大会…5月16日、場所：愛媛県武道館

西日本大会…5月29, 30日、場所：福岡市民体育館

全日本選手権大会…7月3, 4日、場所：日本武道館

優勝大会…8月29日、場所：岡山市総合文化体育館

全日本男子優勝大会…場所：大阪府立体育館、日程は未定。平成22年2月11日の理事会にて報告予定。

全日本女子優勝大会…場所：春日井市総合体育館、日程については同上。

新人戦大会…12月12日、場所：広島県立総合体育館

(2) 審判長について

平成22年度は草間先輩に審判長の要請をしている。来年5月は草間先輩が不都合のため、審判長は大城戸先輩をお願いすることになる。

5. リーゼミについて

報告者：葛西辰伍

平成21年度リーゼミは、講師・藤原崇郎先輩で「尾道ふれあいの里」にて行われる。

6. 平成22年度予算案

報告者：石井博貞

平成22年度の別紙予算案が承認された。

7. 剣友会（中四学連・剣友剣道大会）の報告

報告者：村井慎治

広島大会の結果は別紙の通り。来年度は愛媛県開催（全日大会予選）。

次年度から剣友会事務局長の役職が、村井先輩から境先輩に引き継がれることが報告された。

8. 剣道有功賞について

報告者：木原資裕

全日本学生剣道連盟常任理事会議事録にもある通り、青野晃治先輩の受賞が決定された。

新人戦に青野晃治先輩は欠席されたが、一週間前に賞状及び記念品が本人に届いたことが報告され、本人から皆様に謝辞が伝えられた。

9. 顧問弁護士について

本連盟で弁護士と顧問契約すべきか検討された。

年間の契約金（便宜を図って頂いた）、旅費、宿泊費、その他が必要であり、現状の予算では難しい。検討の結果、見送ることになった。

10. その他

(1) 役員名簿記載の理事役職（案）については承認された。

(2) 審判部より新人戦大会において、3大学以上の混成チームの名称に規定を設けることについて提案された。今回チーム名「因幡の白兎」を妥当とすべきか疑問が提議された。今後の検討事項とした。

(3) 会長より招待状について検討することが提案された。

以上の議事を終え、本会は午後15時00分、議長が閉会を宣言して散会した。

上記決議を明確にするため議事録をここに記す。署名人はこの議事録が正しいことを以てここに記名及び押印する。

平成 21 年 12 月 12 日

中四国学生剣道連盟 第32回理事会

署 名 人 竹 内 善 一

署 名 人 葛 西 辰 伍



次回 MTG

日 時：2010年5月15日

場 所：愛媛県武道館・1階・大会議室